

京丹波

議会だより

第40号

[平成 26 年 7 月 17 日]

発行 京都府京丹波町議会

6月定例会

2P 補正予算、条例制定・改正

4P ここが聞きたい 一般質問に11人

15P 臨時会

16P 委員会報告 閉会中の委員会報告

17P 追跡調査 あれからどないなっとるんや〜?

18P 人(ひと) — 徳岡信男さん(新水戸区)

田植えを教わる
ひかり小5年生



京丹波町

議会ホームページアクセス件数
978,235件(H26.7.6現在)前号より1,812件増



坂原稲荷池調査設計に 1030万円を計上



安全上改修が急がれる稲荷池（坂原地内）

26年第2回定例会は、6月2日から18日までの17日間の会期で開催され、5議案を可決しました。

一般質問には11人が立ち、40項目について執行部の所見をたどしました。なお、本例会には、10人の方が傍聴されました。

一般会計補正予算

主なものは、和知地区坂原地内の稲荷池整備に係る調査設計等委託料として、1030万円、いじめ防止対策推進委員への報酬など26万1千円を計上するもの。「全員賛成」

主な質疑

問 稲荷池の調査の必要性、調査期間、調査費用の内訳は。

課長 老朽化が進んでおり、法面からの漏水などがあり、危険な状況にあるため調査する。期間は9月から11月で現地調査終了と考えている。費用内訳は測量に113万円、調査に341万円、調査解析に67万円、設計に402万円、ハザードマップの作成に107万円を見込んでいます。

問 地元負担などの協議は。

課長 事業費などで地元としっかり協議をしながら進めていく。

問 特別職の報酬と関連して、特別参与は特別職に当たらないのか。

課長 特別職に該当するが、嘱託職員賃金という形での支払いである。

賛成討論 梅原 好範 議員

住民が日々の生活を過ごすなかで感じる不安や心配ごとの解消と軽減を目的としており、欠かすことのできない予算として賛成。

条例の制定・改正

いじめ防止対策推進委員会条例の制定

いじめの防止などに関する対策を総合的に効果的に推進するため、いじめ防止対策推進委員会を設置するもの。「全員賛成」

問 委員会の設置が必要な課題に直面している事件などが、発生しているのか。

教育長 現在、委員会にかけるような重要な事案は発生していない。

問 いじめ問題対策連絡協議会を設置してから、本条例を提案すべきでは。

教育長 いじめ問題対策

策連絡協議会は、要綱で設置できるので、現在準備を進めている。また、いじめ防止基本方針に基づき委員会が設置されることが望ましいので、現在準備している。

問 本条例は、起きてからの対応をどうするかという委員会での前にしなければならぬことがあるのでは。

教育長 24年度後半から学期に1回、年3回、早期発見するために、アンケート調査を実施している。

問 現場での未然防止や家庭教育が大事であるが、今後、委員会が設置された後には、どういったことが期待されるのか。

教育長 今後、学校とも十分連携しながら、アンケートの実施、また、丁寧な個別面談など、早期発見、早期対応をしっかりと進めていきたい。

税条例等の一部改正

地方税法の一部改正に伴い、法人税割の税率及び軽自動車税の税率など所要の改正を行うもの。

〔賛成12 反対3〕

法人町民税2・6%引き下げによる減税分、また、軽自動車税の引き上げによる増税分はいくらか。

課長 法人税減税額は1500万円、軽自動車増税分は500万円と見込んでいる。

問 農業は大幅減収になっている。農業機械類は減免、免除する考えはないか。

課長 基本的に安定した自主財源確保という観点から、減免の考えはない。

問 軽自動車税四輪車において、27年4月1日登録車は改正の税額で、2日以降の登録車は翌年度課税となるのか。

課長 4月2日以降であれば、28年課税から改正税率が適用される。

反対討論 東 まさ子 賛

交通面で不便な地方の住民ほど影響が大きい。消費税に加えて二重の負担となる改正には反対する。

請負契約

町営バス(小型バス) 購入契約

瑞穂バス事務所管理の町営バスのうち、運行年数が16年を超過し老朽化が著しい車両について更新を行うもの。29人乗り小型バス1台を、徳岡商会(株)から、704万5200円で購入し、26年10月31日までを納期として契約を締結するもの。

〔全員賛成〕

問 現在53人乗りのバスを小型バス29人乗り

に更新しても十分対応できるのか。

課長 朝夕を中心に、児童生徒の通学用に利用しており、それ相応の29人乗りのバスを購入して対応するもの。

意見書

「3ワクチン(おたふくかぜ、B型肝炎及びロタウイルス)の定期接種化を求める意見書」について

提出者 福祉厚生常任委員会委員長

予防接種制度は感染症対策として、最も基本的かつ効果的な対策の一つであり、国民の生命と健康を守る極めて重要な手段である。

24年5月、厚生科学審議会感染症分科会予防接種部会が取りまとめた「予防接種制度の見直しについて(第2次提言)」などにおいて、おたふくかぜ、B

型肝炎及びロタウイルスワクチンについても、医学的・科学的観点から広く接種をすることが望ましいとされた。しかしながら、この3ワクチンについては、定期接種化の見通しが立っていない状況にある。

よって、国において、子どもたちを感染症から守るため、また、少子化対策のため、そして、総合的な医療費削減の観点からも、この3ワクチンを早期に定期接種の対象とするよう強く求めるとともに、実施主体である市町村の財政負担とならないよう、所要の地方財政措置を講じることが要望する。〔全員賛成〕



元気にすくすく大きくなあれ

平成26年6月定例会

賛否の分かれた議案のみの表示です。ほかの議案については、全会一致で賛成しました。

各議員の賛否

審議結果	議員名	森田	松村	原田	梅原	山下	坂本	岩田	北尾	鈴木	篠塚	東	山崎	村山	山田	山内	野口
	議案名等	幸子	篤郎	寿賀美	好範	靖夫	美智代	恵一	潤	利明	信太郎	まさ子	裕二	良夫	均	武夫	久之(議長)
可	税条例等の一部改正	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○	一

議長は採決には加わらない。○は賛成、×は反対



一般質問 **ココが聞きたい**

大学生の育英金給付額の引き上げを



山崎 裕二 議員

教育長 評議員会に諮り検討していく

問 20数年前から同水準の大学生の育英金給付額引き上げを。

教育長 人材育成のためにも、評議員会に諮り検討していく。

問 経済状況勘案と税未納などの関係は。

教育長 未納がある場合は施行規則にもとづき判断している。

問 幼稚園児も育英基金の対象にできないか。
教育長 評議員会に諮る考えはもっていない。

任意接種ワクチンに
独自助成を

問 水ぼうそう・成人用肺炎球菌の定期接種対応時期と負担額は。

町長 10月からひと月程かかると見込んでいます。今後、医師会や近隣市町村と調整し、負担額は決定していく。

問 おたふくかぜ・B型肝炎・ロタウイルスワクチンへの助成を。

町長 数年のうちに定期接種対象となること

が想定されるため、検討していない。

問 京丹波町病院での予防接種実施の拡充を。

町長 小児科で毎週火・木曜日に加え、4月より、毎週土曜日にも実施している。

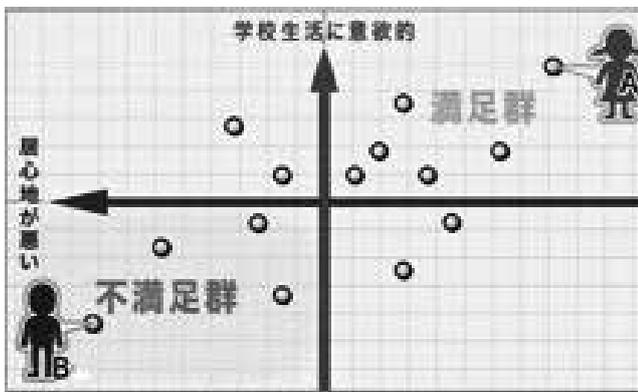
いじめの早期発見・
予防にQ・Uの導入を

問 いじめ防止対策推進法にもとづく教育委員会としての対策は。
教育委員長 定期的な

アンケート・聞き取り調査や教育相談体制の整備、家庭との緊密な連携が大事だと認識し、進めている。

問 全小中学校でQ・Uアンケートの継続的・定期的な実施を。

教育長 中学校では予算化し実施済みで、一部の小学校でも試行実施した。今後、いじめ防止や不登校予防の観点からも効果的な活用を検討していく。



Q-Uアンケート分析結果のイメージ
(昨年12月放映のニュースアンカーより)

教員の多忙解消を

問 各中学の体育系クラブの指導にボランティア人材などの活用を。

教育長 開かれた学校づくりや生徒と地域の方々との交流という観点から、学校の意見や実態をふまえながら考えていく。

ふるさと納税特典で
「食の郷」のPRを

問 京丹波産の食にちなんだ特典賦与によって、「食の郷」としての姿勢・魅力の発信を。

町長 食のPRとの観点から、特産品などの送付を検討していく。

問 町営バス定期券を半額助成している須知高校生や成人式の場で啓発をしては。

町長 同窓会などを通じての依頼は有効と考える。成人式では制度趣旨を理解いただけるようなチラシを作成し、配布などを検討する。



村山 良夫 議員

2020年に向けての 財政健全化施策の影響は

町長 今後の国の施策の動向を見据え取り組む

問 昨今の政権争いのなかで、選挙結果を重視した人気とり政策が実施され、多大な特別交付税がばらまかれ、本町もこの恩恵を受け財政の健全化が図られた。

町長 しかし、わが国に課せられた財政バランスの安定化には、特別交付税・普通交付税の縮小は必至である。合併特例期間終了後における、本町の財政運営の見通しは。

町長 国の中期財政計画では、地方財政は国と歩調を合わせ、抑制が図られる。

問 限られた財源のなかでの財政運営には、費用対効果を見極めた予算編成が必要ではないか。

町長 予算編成は、将来の住民にも責任の持てる安定した財政基盤の確立を、基本理念としている。

問 将来の財政基盤に

も責任を持つ予算編成には、現金主義の単式簿記でなく、発生主義の複式簿記を導入し、投資の減価償却を把握した長期的な考え方が必要ではないか。

町長 現金収支を単年度ごとに管理する単式簿記は、予算執行状況の管理上優れている。国からの財務把握の指導は。また、本町の取り組みと成果は。

町長 資産の実態把握のため、財務書類の作成の指導を受け、財務書類4表を公表している。

問 公表している4表で町民1人当たりの純資産はいくらか。また、府民として純資産は。

町長 町民の純資産は311万円、府民としては27万円である。

問 同じモデルで作成している財務書類の約10倍の差異は。差異には要因がある。

水道事業特別会計に
新会計制度の導入

問 26年度予算に5000万円を計上したが、費用対効果は。

町長 資産の実態把握が可能となり、施設の更新計画に効果があると考え、5000万円を計上した。

問 先に指摘した財務書類4表も正確な実態把握とは言えない。新会計制度の成果を得る体制の構築は。

町長 会計士や税理士の力を借り、ソフトの導入で対応する。

人事と財政は
横割り組織に

単式簿記に従事してきた職員には、複式簿記を有効に活用するのは大変である。人事・財務部門は横割り組織とし、専門家の育成とノウハウの蓄積を提案する。



新会計制度を導入する水道事業



防災行政無線の整備計画は



松村 篤郎 議員

町長 移動系防災行政無線のデジタル化に取り組む

問 防災無線の状況と課題は。

町長 同報系防災無線は和知地区で整備された屋外拡声局と戸別受信機であるが、ケーブルテレビの告知放送に役割が引き継がれている。

移動系防災無線は、旧3町でそれぞれ整備された車載用無線機お

よび携帯無線機を運用しているものである。

アナログ方式であり、互換性がなく旧地区間での通信が不可能であり、災害時の情報伝達に支障がある。

問 整備される移動系

のデジタル化へのメリットは何か。

町長 1周波数で複数の通信ができることにより、同時に複数の災害現場から報告を受けられる。

問 今後の整備計画は。

町長 全町統一したシステムの整備が必要である。

課長 今回は行政が運用する車載用無線機、職員・消防幹部などが持つ無線機を整備する。

教育現場の危機管理について

問 危機管理マニュアルは各学校において作成されるのか。

教育長 各学校の実態にあわせ、府のマニュアルなども参考にし、学校独自で作成されて

いる。

問 気象警報など発表があった場合、1回線だけの電話連絡で時間差などの問題は起きていないか。

教育長 各学校で機敏に対応しており、そのようなことは聞いていない。

固定電話のほかに携帯電話の契約があるところは活用している。

学童保育について

問 丹波・瑞穂・和知での現状は。

教育長 5月1日現在の登録児童数は、丹波47人、瑞穂42人、和知24人である。

問 募集要項の地区限定の募集を自由選択制にする考えは。

教育長 学校区単位の要望は聞いている。自由選択制にすると、学校から学童保育所への移動ルートが増え、移動手段の確保が難しいので考えていない。



地域安全マップで地域を確認中（下山小学校）



森田 幸子 議員

須知・水辺公園に 健康遊具の設置を

町長 遊具の更新時に検討する

問 水辺公園の小川は、どのような管理をしているのか。

町長 土砂などの堆積があった場合は、その都度、撤去している。

問 トイレの照明が、赤色に塗られている。改修する考えは。

町長 現地確認し、先日器具の洗浄を行った。

問 遊具の周りには、タイルが欠けたり、はがれたりしているが、今後どのように改善されるのか。

課長 元の状態に戻すというのが基本であり、そういった部分も含めて改修するなど、検討する必要がある。

問 須知公園・水辺公園に、子どもから大人まで使用できる健康遊具を設置する考えは。

町長 更新時に検討する。

問 健康遊具の購入に助成制度導入の考えは。

町長 具体的な要望が出た時点で検討する。

自然公園の トイレ改修を

自然公園の トイレ改修を

問 公園内のトイレは和式が多く使用しにくい。洋式に改修を。また、貸し出し用ベビーカーの設置を。

町長 公園利用者のニーズに合わせて、改修の要望をしていく。

適切な動物愛護管理を

問 犬の飼育頭数と狂犬病予防注射接種率は。

町長 1756頭で注射済票の交付が883頭、接種率は50・3%。

問 未接種の飼育者に、再度の連絡をすることで、飼育頭数の確認につながるのでは。

課長 今後、未接種飼育者への連絡及び高齢犬の生死確認を行い、飼育頭数を把握し、接種率の向上に努める。

問 殺処分ゼロを目指した取り組みが進んでいる。本町における犬・猫の殺処分数は。

町長 犬が1頭で猫が35匹である。

問 殺処分ゼロに向けた取り組みの考えは。

課長 終生飼育が基本で、飼い主の方にむやみに繁殖させることのないよう去勢手術などの啓蒙啓発に取り組む。

問 猫の苦情内容は。

課長 鳴き声や臭気に関するものが多く、件数は432件である。

問 猫の殺処分ゼロを目指し、野良猫の去勢手術助成制度を創設する考えは。

町長 現時点では考えていない。

上豊田保育所の 危険箇所改修を

問 上豊田保育所は、老朽化で毎日危険と隣り合わせである。町長の認識は。

町長 認識しており、子どもたちの安心・安全の確保を図るため、点検を行い対応する。



動物愛護管理の徹底を



窓口業務を毎月2回 午後7時まで延長サービスを



篠塚 信太郎 議員

町長 窓口業務サービスの向上に向け研究したい



サービス向上が検討される窓口業務（本庁舎）

問 南丹市が実施している毎月2回、午後7時まで窓口業務延長サービスを実施する考えはないか。

町長 各種証明書発行など、容易な業務に限定し、窓口業務サービスの向上に向けて、今後研究したい。

問 土・日曜日・祝日も住民票などが交付できる自動交付機を設置し、手数料を100円

安くするサービスを実施する考えはないか。

町長 今後、住民ニーズの調査、研究に努めていく。

問 戸籍・住民票などをコンビニで取得できるサービスを実施し、手数料を窓口発行より100円安くしては。

町長 28年1月から運用開始のマイナンバー制度と兼ね合わせて調査研究したい。

道の駅「和」の施設整備と改善を

問 5月の連休にトイレの水が流れなくなつた。また、最近臭気が発生している。早期の改修に向け、国交省と協議すべきでないか。

町長 トイレの故障の原因は、国交省で調査中である。臭気は便器や配管の汚れなどによるものであり、抜本的な改善を要望する。

問 道の駅と道路情報センターの間を、屋根付きのイベント広場として活用しては。

町長 要望があれば検討したい。

問 縦貫道全線開通を見据え、集客力を高める方策として、国交省に京丹波わちICの名称を「京丹波わち・美山IC」に変更する要望をしてはどうか。

町長 課題を整理し、可能性を探っていきたい。

国道9号丹波インターから自然公園までの街路樹管理を

問 街路樹としてツツジ、クログアネモチ、ハナミズキが植栽されているが、雑草が繁茂し生育不良である。国交省と協議し、土壤改良をすべきでは。

町長 国交省と協議する。クログアネモチ、ハナミズキは、専門業者の意見を聞き対応する。

グランベール京都ゴルフ倶楽部の経営譲渡方法と譲渡先は

問 グランベール京都ゴルフ倶楽部の経営を日本最大のゴルフ運営会社に経営譲渡すると聞か、譲渡方法および譲渡先は。

町長 JR西日本が保有する株すべてをゴルフ場運営の大手専門会社に譲渡するもので、譲渡先は今しばらく伏せてほしいとのこと。



鈴木 利明 議員

企業誘致策についての 所見を問う

町長 提言のとおり総力戦の取り組みが大事だ

問 4月1日、企業誘致の窓口となる「商工観光課」が発足し、企業誘致策の体制はすべて整った。

5月1日、商工観光課長及び企業立地推進係長と金融機関を訪ね、京都・大阪へ行って来た。目的は企業誘致のお願いである。

企業誘致策は、大変難しく激戦である。これを打破するには、総力戦以外に妙手はない。加えて、企業の日本回

帰傾向、災害の少ない京丹波、既進出企業との連携などの総合策を実行していけば、可能性は無限にある。

現時点での進出企業情報を含め、町長の所見は。

町長 総力戦で取り組むことが大事である。多方面とのネットワ

ークにより、いち早く情報をキャッチし、迅速な行動が重要である。また、既存の立地企業のサポートやネット



京都中央テクノパーク（下山蔭区の工業団地）

ワークづくりにも取り組んでいきたい。現在、企業誘致が進んでいるところはない。

結婚支援策の 体制づくりを

問 未婚の若者が増えている。この現実には人はもちろん、家族中が悩んでいる。親は腫れ物に触るような、祈る気持ちである。

昔は地域の人が手助けをした。しかし、今は結婚に仲人も立てなくなつた。恋愛結婚が主流で、自分で相手を探せない人は未婚となっている。今、ここにしっかりと手を差し伸べるのが行政である。

これまでの結婚支援活動で、成功例はあったのか。

町長 観光協会が設立され、事業委託している。2組が結婚されている。

問 町民と行政が一体となって、地域全体で

結婚支援を進める体制をつくるのが重要である。

支援をさらに強化してはどうかと考えるが、町長の所見は。

町長 観光協会と連携のもと、さまざまなイベントや行事を出会いの場として、若い人たちの参加を呼びかけ、積極的に取り組んでいきたい。

カワウの駆除を

問 土師川に魚がいなくなつた。原因はカワウである。

美しい川や魚を守るため、カワウの駆除が必要であると考えるが町長の所見は。

町長 被害も増加している。今年度から有害鳥獣捕獲奨励金の対象とした。京都府および各漁協組合と連携し、広域的な対策が講じられるように進めていく。



JR和知駅トイレの改修を



梅原 好範 議員

町長 改修を順調に進める



改修が待たれる狭小なトイレ（JR和知駅構内）

問 JR和知駅構内に設置されているトイレは、狭小なスペースに和式便器が設置されており、年配の方や障害者の方には大変な不便をかけている。さらに同駅の存続を

なさま、イベントの参加者にとって、誰もが気持ちよく利用できるトイレの施設整備は不可欠である。身体障害者福祉会や和知駅前活性化委員会をはじめ、多くの団体からの要望書が提出されたが、現在どのような進捗しているのか。

町長 要望を受けた直後に現場に向き、必要性を強く認識したう

えて改修を指示した。JR側との協議に時間を要したが既に合意に達しており、今後は順調に改修が進められる。

通過のまちと
ならぬよう

問 縦貫道の全線開通を目前とし、利便性の向上を歓迎する反面、一般道を利用する車両が減少することから、地域の衰退を危惧する声が聞かれる。

心配されるみなさまからは「今こそが取り組む最後のチャンスだ」として、縦貫道利用者や町内出口に誘導するIC名への変更。または、本線上に地域の観光や商業施設を連想させる案内看板を設置するなどの提案を受けたが、町長はどのように応えるのか。

町長 提案内容は大変有効なものとして、今後道路管理者に対し、実現するまで

しっかりと要望を続ける。

被災者に優しい
復旧支援を求める

問 昨年9月、台風18号により各地で甚大な被害が発生した。

本町では深刻な被害状況に即応し、補助金交付要綱を設置したが、支援策はすべての被災者と地域に向け同時同等に広報されたい。有効に運用されているか。

情報伝達の多くを委ねる行政区の現状はあまりにも多様化しており、復旧支援に関してより優しく丁寧な対応を求める。

町長 あらゆる媒体を通しての広報を実施した。さらに被災された各戸を訪問し、綿密な申請勧奨をするなど、補助事業の内容を広く周知したうえで運用している。



山下 靖夫 議員

高速バスの 自然公園前での乗降を

町長 しっかりと要望をしていく



京都交通高速バス（JR京都駅前）

問 京都交通と西日本JRバスが京都から京都縦貫道丹波IC、国道27号を經由し、わちIC、舞鶴、そして小浜へと「若狭舞鶴エクスプレス京都号」が運行されている。この高速バスに丹波自然公園前で乗降ができ、（仮称）瑞穂IC經由で舞鶴方面へルート変更の要望を行ってはどうか。

町長 バス事業者によると、縦貫道が全線開通すれば、運行の目的からすべて縦貫道を走行する予定であると聞いている。自然公園前などを經由するルートの実現は困難であると思うが、今後しっかりと要望活動をしていく。

国道9号の4車線化は

問 町道橋爪大朴線の旧河川敷上の道路が未改良のため、JRバスも迂回をしている。早く改良すべきでは。

町長 埋設管の協議がまとまったので、早期工事着工に向け関係機関と調整を図っていく。

自然公園の宿泊施設は府内産木材で

問 丹波自然公園の宿泊施設が府内産木材で改築がされると聞いている。建築用の木材は早くからの準備が必要であり、京都府からの情報は下りてきているのか。

町長 分筆には、その土地に隣接する所有者の方と境界確定、地積測量図の作成に莫大な経費と期間を要するためである。

問 町有林にも立派な立木があり、それらの

町長 期限を迎えた時点で、木材を搬出するよりも契約を延長した方が得策であったためである。

問 町有林にも立派な立木があり、それらの

町長 期限を迎えた時点で、木材を搬出するよりも契約を延長した方が得策であったためである。

問 町有林にも立派な立木があり、それらの

町長 期限を迎えた時点で、木材を搬出するよりも契約を延長した方が得策であったためである。

問 町有林にも立派な立木があり、それらの

町長 期限を迎えた時点で、木材を搬出するよりも契約を延長した方が得策であったためである。



介護保険制度の見直しでサービスは低下しないか



坂本 美智代 議員

町長 町として現状維持をする



筋トレ・脳トレ教室の説明会（中央公民館）

問 介護保険法の見直しで要支援1、2の認定者に対し、訪問介護とデイサービスを介護保険給付から外し、市町村の事業に移すとしている。本町の要支援1、2の認定者数は。

課長 211人である。

問 受け皿となる本町では、これまでどおりのサービスが提供できるのか。

町長 しっかりと現状維持をする。

特養ホームの待機者数は

問 特養ホームの入所対象者を要介護3以上と限定される。こうなれば、多くの高齢者が待機者にもなれず、放置されることになりかねないと考えるが、町長の見解は。

また、特養ホームへの待機者は全国で52万人であるが、本町での待機者数は。

町長 施設との調整を

図り対応したい。
課長 待機者は、3月末で128人である。

問 一定以上の所得がある場合、利用料を2割に引き上げるとしているが、対象となる件数は。

町長 所得のある方には負担を求めることに賛成である。介護サービス受給者のうち対象者は53人である。

問 介護保険法の見直しが強行された場合、利用者・家族・介護現場への影響は。

町長 持続可能な介護保険制度の確立のため、必要な見直しである。

地球温暖化の抑制を

問 地球温暖化の抑制が差し迫った課題となっている。本町では個人住宅への太陽光発電のパネル設置に対し補助制度が設けられているが、団体などへの取り組みにも支援する考えは。

町長 計画されている団体などを調査するなど検討したい。

生ごみを堆肥として資源化に

問 家庭や学校給食から出る残飯や調理くずを回収し、リサイクルを回収し、リサイクル堆肥として農家に提供し、その堆肥で栽培した野菜を学校給食に使用するなど、生ごみを堆肥として資源化に取り組む考えは。

町長 生ごみの分別の仕方や収集方法など、さまざまな課題もあることから、研究していきたい。

町道の管理状況は

問 現在、地元住民の方が出役し管理しているが、高齢化が進むことで少人数での作業となり、厳しい現状である。対策が必要では。
町長 町が管理すべき道路については、管理していく。



山田 均 議員

道の駅「京丹波味夢の里」の 運営管理は

町長 町が最終責任を持つ気持ちで事業にあたる

問 ハイウェイテラス京たんばが、道の駅「京丹波味夢の里」と認定され、出荷者協議会の説明会開催チラシも折り込みされた。

出荷者協議会規約 (案) では、特別会員として7団体と会長が必要と認める団体で、入会金・会費は免除、役員には選出できる。出荷者の自主的な組織ではないか。

町長 (案) は一度白紙に戻すと聞いている。

問 施設の管理・運営責任者は、ルーフトゲート(株)(特別目的会社)であるが、具体的にどこが運営するのか。

町長 主体的な運営はサンダイコー(株)に、維持管理は近代ビル(株)が委託を受けて実施される。

問 丹波地域開発(株)の元職員が、町の嘱託職員に採用されている。不明朗な人事で公私混同ではないか。

町長 事業に精通されており採用した。

問 町は、維持管理と運営業務をルーフトゲート(株)と契約、指定管理者としており、すべてに責任を持つことではないのか。また、協定書や仕様書に基づいて報告を受けて、チェックや指導するのが、町の責任ではないのか。

町長 18億円以上投資するのは町であり、最終責任を持つ気持ちで事業にあたっている。

解釈改憲への見解は

問 憲法の解釈を変えれば、アメリカが海外派兵を日本に要求してきたら断ることができない。「自衛隊に入らなくなり徴兵制を敷くことになると」と、解釈改憲に反対する新潟県加茂市長のように表明すべきでは。

町長 解釈改憲で

はなく、したいなら憲法を改憲すべきである。

町独自の認証制度をつくり農業振興の柱に

問 本町の良さ、他市町との違いをどこで出すのか。町独自の有機栽培の認証制度をつくらせて、町をあげて取り組むべきでは。

町長 有機農産物は競争に打ち勝つと理解している。技術者会議などで十分に検討したい。

問 特別保護区の見直し時期になっている。関係者の会議の援助な

ど支援すべきでは。

「非核自治体宣言」懸垂幕の掲示を長く

問 「非核自治体宣言」の懸垂幕は、終戦記念日の8月は掲示すべきではないか。

町長 非核平和自治体宣言の町として8月ぐらひは掲示したい。



恒久平和は全町民の願い



教育内容の押し付けを心配している



東 まさ子 議員

教育長 教育の政治的な中立性は重要である。しっかり取り組む



土曜日活用『ひかり小学校スポーツジム』に取り組む

問 教育委員会は、戦前の教育行政を反省し、首長が教育を直接支配しないようにつくられた、首長から独立した行政機関である。

今、国会で、教育の自主性を守るためにつくられた教育委員会制度が「改革」されようとしているが、国や首長が教育の前身にまで介入できるようにすれば、国がすすめる教育内容が押し付けられる心配はないか。

教育長 教育の政治的な中立性、安定性は重要であり、従来どおり教育委員会としてしっかり取り組む。

問 道徳の教科化が検討されている。教科化は、点数で評価をすることになり、戦前の教育のように特定の価値観を押し付けることにつながるのではないかと心配している。

教育長 不易の部分（豊かな人間性、正義感、公正さを重んじる心、思いやりなど）を

しっかり教えることも必要と考える。

問 全国一斉学力テストは、点数競争で教育をゆがめ、学力向上に役立たないと抽出で実施されていたが、昨年から全員調査に戻され、学校別成績の公表も可能となった。テスト勉強中心の教育になるのではないかと考えるが見解はどうか。

教育長 教育指導の充実、学習状況の改善に役立てる。

10%への増税中止を

問 消費税増税から2か月が経過したが、本町の増税後の影響は。

町長 商工会や町内の製造企業30社を訪問した。増税前の駆け込み需要で、6月頃まで落ち込みが続くという状況がある。小売店・サービス業や建設業については、数事業所ずつ抽出して調査したが、前年度と比べ売り上げ

が減少した店舗が目立った。また、電気代などの高騰が経営を圧迫ガソリンの値上げ、軽自動車税の引き上げなど地方での生活が厳しくなると予想している。対応策を考えたい。

問 支援策と同時に、10%への引き上げを中止させるべきだ。

町長 社会保障の充実に充当してもらおう。

丹波地域開発(株) 運営資料の提出を

問 丹波マーケスの管理運営をしている丹波地域開発(株)へ、本町は3億3千万円を出資している。持ち株40・5%の最大株主であり、運営について権利と責任を負っている。議会へ資料を提出すべきではないか。

町長 権利と義務の関係から、しっかりと議会に報告していく。

臨時会

4月25日、第2回臨時会が開催され、2議案、専決処分承認を求めた案件3件が提案され、全議案を可決承認した。

税条例の一部改正

【専決処分】

居住用財産の買換えなどの場合、譲渡損失の損益通算及び繰越控除について、地方税法において直接適用されることから、この規定を削除するなど所要の改正を行うもの。

【全員賛成】

問 条例の対象となる方は何人ぐらいあるのか。

課長 本町に適用する事例はない。

国民健康保険税条例の一部改正

【専決処分】

中間所得者層の保険税の負担軽減を図るため、軽減判定所得基準の見直しを行うなど改正するもの。

【全員賛成】

25年度補正予算

繰越明許費として台風18号関連の災害復旧事業及び木造住宅耐震改修事業において、事業の進捗状況から新たに8664万3千円を追加するもの。

【全員賛成】

問 復旧までイノシシなどの侵入は待ったなしである。それに対する町の対応はどうか。

課長 作付けが可能なところは各農家に対応していただいている。

問 土木業者育成の面からも町の指名業者はもろんであるが、指名外の業者の方も活用して災害復旧にあたるという考えはないか。

参事 個人的な災害復旧の施工に指名参加業者以外の方も仕事をされている。公共工事については、指名参加の業者を対象としている。

問 泥撤去など地元でできることについては、農家組合で実施してもらう考えは。

課長 関係書類の提出ができるものであれば地元施工でも可能であり、補助金交付も進めていく。

土地開発公社先行取得用地の買い戻し

須知及び
曾根地内の土地

合計1万1440㎡

を1億973.6万円で買い戻すもの。

【全員賛成】

問 買い戻された土地の管理と、利活用についての計画は。

課長 具体的な計画はできていない。速やかに活用ができる方法などを検討する。管理については住宅などに影響が出ないようにする。

問 現在の取引価格はいくらか。

課長 公共工事での買い取り価格では、宅地で1万3000円程度である。

問 今回の買い戻しも含めて、今現在の未利用地の総面積は。

課長 約6万㎡である。

賛成討論 山田 均 議員

塩漬け土地は、事業計画もなく取得したもので、当時の町長と議会に責任もある。塩漬け解消方法として賛成。

橋爪及び 中台地内の土地

合計1万4499㎡

を1億7061万円で買い戻すもの。

なお、これらの用地取得によって、公社の債務はすべてなくなつた。

【全員賛成】

問 土地の効率的な活用にに向けて努力をしていくとのことであるが、具体的にどのような取り組みをされようとしているのか。

町長 利活用検討委員会もあるが進んでいない。それでも、それぞれの場所にあった活用をしていきたいとの強い意志を持っている。

問 貸付地として利用しているところは、誰にでもわかるように、管理をするべきでは。

町長 町有財産についてはしっかりと明示し、管理していく。



買い戻された土地（須知奥ノ谷）



閉会中の委員会報告

総務文教 常任委員会

公園を主会場）を計画
中である。

◎企画政策課

5月30日、委員会を
開催し、所管事業の状
況など報告を受けた。

また、本町と友好交
流協定を締結している
北海道下川町へ1年間
派遣、帰庁した堀地域
資源活用推進室長から
報告を受けた。

◎下川町報告

下川町は持続可能な
循環型森林経営を目指
すなかで、23年、国の
新成長戦略と
して、「環境
未来都市」及
び、「地域活
性化総合特
区」にそれぞ
れ認定を受け、
環境未来都市
を宣言しなが
ら先進的な取
り組みを展開
している。

◎総務課

土地開発公社からの
土地の買い戻しが今年
度で終了。有効活用へ
利活用検討委員会など
により検討する。また、
町有財産台帳の整備に
取り組んでいる。

毎年、町原子力防災
訓練を実施し、和知地
区の一部地域を対象に
住民避難訓練を行って
いる。今年度は府と共
催により原子力総合防
災訓練（丹波自然運動

議会におい
ても、下川町
議会のみなさ

まが訪町された際に
意見交換会を実施し
た経過がある。今年
度においても、引き続
き実施されている下川
町との友好交流事業が
本町の目指す「森林資
源有効利用したまちづ
くり」推進に向けて実
効的な効果をもたらす
よう、研究と調査を深
めていくことを確認し
た。

福祉厚生 常任委員会

5月23日に開催し、
所管事業の状況など説
明を受けた後、現地踏
査を実施した。

●住民課

人権啓発推進事業
（映画、講演会）及び
男女共同参画事業（き
らりセミナーなど）を
実施予定。
子育て世帯臨時特例
交付金の対象児童は1
239人。

●保健福祉課

臨時福祉給付金の対
象者は2949人。
なお、2つの給付金は
重複して支給対象とな
らない。
京丹波町高齢者福祉
計画および第6期介護
保険事業計画策定に向
け、ニーズ調査結果を
分析し、策定委員会に
諮る予定。

●子育て支援課

本年度入所児童数は
3園合計で270人。
わちエンジェルに防
犯カメラを設置予定。
みずほ保育所のテラ
ス屋根設置工事が完了。
工事費は523万円。
子ども・子育て審議
会の答申を受けて、子
育て環境を充実させる。
ファミリーサポート
センター事業の25年度
利用状況は211件。
会員数は、お願ひ会員
33人、預かり会員30人、
両方会員4人。

●現地踏査

上豊田保育所は昭和
56年に開所して以来、
増設・改築をしてきた
が、老朽化に加え段差
が解消できず、入所児
の安全面からも課題が
あり、さらに車椅子を
利用する障害児の入所
は困難な状況である。
今後、本委員会として
も早急な対応を求めて
いくことを確認した。

●京丹波町病院

4月から毎週
土曜日診療（午
前中に内科と小
児科）の開始。
第2土曜日に物
忘れ相談外来の
実施。
各医療職のス
キルアップ、地
域連携室による
入退院調整及び
訪問事業の推進。



堀室長の報告に聞き入る委員（議場）



安全面から課題が多い上豊田保育所

議会での議論がその後どうなっているのか、町民のみなさんの疑問に答える企画です。

あれから どないなっとるんや〜？

問 教室の温度を測り、普通教室にエアコン設置を。

教育長 温度計をすべての普通教室に設置し、研究をしていきたい。

問 100万円（税抜）と非常に高い下水道新規加入分担金の見直しを。

町長 今年度で集合処理区域の整備が完了予定であり、これを機に見直したい。

こうなった！

26年度当初予算で、幼稚園と中学校のエアコンを設置するための設計費1800万円が予算計上された。すべての学校で、早く整備ができるように引き続き求めている。小学校は27年度当初予算で設計費を計上予定。



こうなった！

100万円（税抜）であった新規加入分担金が、26年4月から80万円（税抜）に引き下げられた。合併した近隣市町と比べても高かったため、住みやすいまちづくりに一歩前進した。



地域の活性化の原動力となればと願っています



今回は竹野サロンの部会長として活躍されている徳岡信男さん(66歳)にお話を伺いました。「サロン」は毎週木曜日、「食彩の工房」で、地域のボランティアさんによって実施されています。

なくなり、いつの間にか疎遠な間柄になってしまっていました。地域の人々が気軽に出席して話せる場づくりが地域の活性化につながると思いい、竹野サロンを開設しました。

「多くの利用者があると同感ですが、その感想は
昨年の10月3日にオープンして以来、今年の5月末で34回開催しています。延べ来場者数は1930人で、1日平均57人と大勢の来場者があり喜んでいきます。地域外からの来場者も約20%あり、サロンの輪が広がっています。情報提供や話題づくりのためにサロン紙を発行しています。」

「サロンの取り組み内容は

主に喫茶ホールでコーヒーなどを飲みながらおしゃべりを楽しんでもらっていますが、サロン内には季節の花々を生けたり、写真やちぎり絵、パッチワーク、折り紙作品などの展示をして、一緒に楽しんでもらっています。また、1人で来られた場合でも、誰とでもおしゃべりができるように大きなテーブルにしています。その他、囲碁・将棋、グラウンドゴルフ、ウォーキング、サロン紙の発行も行っています。また、これまでにクリスマスやひな祭りなどの催しも楽しんでもらいました。

「今後に向けての抱負は

竹野サロンは木曜日開催のため若者は仕事で来ることができません。現在はシニア世代のサロンとして賑わっていますが、今後は若者も集えるサロンにしていきたいです。サロンが地域の活性化の原動力になればと願っています。

「まちづくりや地域づくりに対する思いは

やはり、母体の京丹波町の活性化です。そのためにはまず、若者が働けるまちづくりが不可欠です。高卒・大卒後も本町で働くことができ、多くの若者が故郷に住めるようにしてほしいです。

(記者 東)



「サロン開設の経緯は

竹野サロンは竹野活性化委員会4部会(文化、体育、産業、サロン)のなかの一つです。最近、地域の人々が顔を合わせたり言葉を交わしたりといった場が極めて少

議会の傍聴に おこしください!

次回の議会日程は次のとおりです。

9月定例会

9月22日(火)

午前9時から

編集後記

18号台風による集中豪雨の傷跡も癒えないうちに、かつて遭遇したこともない大型の電がわが町を襲った。被害を受けられた町民の方々に、心よりお見舞い申し上げます。大きな天災には縁の少なかったわが町にも、地球温暖化など自然環境の変動の波が押し寄せている。また、社会的にもわが国は「財政収支・貿易収支・資本収支」の三つ子の赤字を抱え行き詰まっている。

一方、わが町は、従前の慣習や規則・規約に縛られ、自然環境の変化や世界経済の変化に対応できているとは言えない。

一昔前「発想の転換」が謳われ、変化に対応する努力をしてきた。

この議会だよりが改めて、「発想の転換の再確認」の一助になればと願いつつ編集に取り組んできた。

(村山)